

これまでは、公私間の授業料の格差から、公立志望者が多くなる状況があった。が、近年は、大阪のような私立無償化が現実となり公私を含めた2極化が始まった。私立無償化は全国に広がるのか？いずれにせよ、今後は『生徒を伸ばす教員(学校)』がますます注目される時代になるであろう。

大学合格実績 **前例上積みの鍵は“教科力”。**
前例にない成果獲得の鍵は“担任力”。

●今この時代、生徒たちに伝えるべきこと ●クラス運営のコツ ●生徒に高い目標を持たせる方法
 ●モチベーションの高い状態が継続する方法 ●生徒に自分の課題を自覚してもらうための方法

大阪などに代表されるように都道府県によりましては、私学に入学する生徒についても、一定の条件を満たせば、家庭が負担する授業料が無償になるような（公立学校と費用負担が同じになるような）取り組みがなされています。その結果として、公私を問わず入学したい学校には生徒が集まり、そうでない学校には生徒が集まらないという現象がおきています。集まらない公立学校は苦しい状況が続けば募集停止や統廃合が将来的に余儀なくされるというわけです。

主催：株式会社ヒューマンリンク
 電話 075-212-7015
 FAX075-212-7016
 京都市中京区泉正寺 328
 「プログヒューマンリンク」
 「ヒューマンリンク HP」
 更新中。

一方、生徒をよく伸ばすような魅力的な学校は、生徒がこれまでよりも集まりやすくなり、存在価値が一層高まるのです。すなわち、学校として、あるいは、教員個人として求められる学校（教員）像に向けて努力をする学校（教員）はこれまでとは比較できないほど重宝される時代がやってきたといえるでしょう。教員に求められる力量はこの現代において多岐にわたります。教科指導のような教師としての力量はもちろんのこと、生徒をモチベートするスキル・保護者とのコミュニケーション力・教員間の連携・組織マネジメント力・生徒募集の知識（スキル）など、キリがないくらいです。本セミナーでは、これら数多いスキルの中から「担任力」を取り上げたいと思います。 上記枠内の内容以外のものとして、●「滞りなく」クラス運営をしていませんか？ ●「担任になりたいくありません」という先生に歯止めをかける方法 ●私学の担任に求められる素養 ●生徒を伸ばすことに軸足を置いた担任の役割 ●生徒を伸ばすもストップさせるも担任次第 ●担任が言った一言で不登校になる時代 ●生徒に向けられる担任の人間観 ●人間本来の力(主体性・想像を超える可能性) ●学校全体で取り組む担任力ランクアップ などについて、言及を進めたいと思います。

	京都	東京
日程	平成 24 年 4 月 23 日(月)	平成 24 年 4 月 20 日(金)
会場	京都私学会館(四条駅徒歩。京都駅から約10分)	アルカディア市ヶ谷(各線市ヶ谷駅より徒歩)
時間	上記4会場ともに、13:30~16:00。	
講師	稲葉 人司 (株式会社ヒューマン・リンク 代表取締役社長)	
費用	お一人様につき、9,000 円(税込)。セミナー当日にご持参下さい。	
申込	開催の2日前までに以下の「FAX 申込書」をご返信下さい。参加確認書を送付します。	

個別無料相談
 (セミナー終了後)
 ご希望がありましたら以下
 申込欄に○印願います。

【生徒を伸ばす担任力刷新セミナー FAX申込書】

<参加される会場に必ず 印 をお付け下さい>

京都(4/23 月) 東京(4/20 金)

本申込書は FAX にて
 0120-075-347 までご送付下さい

学校名			
住所	(〒)		
電話		ファックス	
参加者1	役職;	参加者3	役職;
参加者2	役職;	参加者4	役職;
		無料相談	希望する 希望しない